

県外派遣報告書

審判員名	長谷川隆司	所属	中体連
大会名	平成26年度 全国中学校バスケットボール大会		
期間	平成26年8月22(金)～25日(月)		
会場	香川県高松市		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
8月22日(金)	審判会議・レクチャー	オークラホテル高松	
8月23日(土)	予選リーグ	香川総合・高松市総合・丸亀市民・善通寺市民	
8月24日(日)	決勝トーナメント1・2回戦	高松市総合・丸亀市民	
8月25日(月)	準決勝・決勝	高松市総合体育館	
会議 講義 内容			
<p>「審判の目線から見たコーチ論」～全ての人々のために コート上でどうあるべきか～という題で講義を受けました。</p> <p>①バスケットボール規則について ②競技規則からコーチとして知っておかなければいけないこと ③判定について「パーソナルファウル」→「シリンダー」・影響・有利不利・判定基準 「バイオレーション」→重心・ボール移動・軸足・リリース ④審判をしてコーチングに活かしたこと ⑤チーム力を作るために ⑥良い審判になるために = 指導者となるために ⑦判定基準の一貫性</p> <p>【中学教師としての観点から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師としての日常で培われるもの ・バスケットボールの技術の理解を高められること ・審判員としての意識を高めること <p>多くの話の中で印象的な言葉は、「審判や指導者の価値は、今のチームや最後に吹いた笛であることを認識すること」です。昔〇〇の大会を吹いたからということで無く、今の自分の経験したところそ実りあるものであり、自分に正直に自己評価することが大切だと更に感じました。</p>			
実技			
担当試合	期 日	平成26年8月23日	男子
	対戦カード	島根 VS 鳥屋野	主審 副審
	相手審判	水谷 有志 氏(香川)	
ミーティング内容		主任	望月公平氏(広島)
<p>後方からの質の悪いプレイに対しての備えが少ない。スペーシングをとらえられる位置どりの工夫が必要である。</p> <p>トレイル時に、逆サイドのハイポストのプレイに対して1歩踏み込んで見る姿勢が欲しい。</p> <p>全体的に質の悪いプレイをゲームの最初から判定し、落ち着いたゲームコントロールができると良かった。</p>			
全体の感想			
<p>自分自身としての全国大会の派遣は、毎年行われるジュニアオールスターを除くと、2年ぶりの大会となった。全国の中体連の中で上級審判員の数が毎年増える中で、日本公認である自分の今回の目標は2日目の割当を勝ち取ることでした。しかし、初日のみの割当となり悔しい思いとなりました。日本公認が数名割当をもらっている状況を真摯に受け止め、今後の活動に生かしていきたいと思っています。</p> <p>今回派遣をさせていただき、開催県である香川県の方には大変感謝しております。この場を借りてお礼申し上げます。また、地元埼玉でも、この経験を伝えながら自分自身の活動にもより一層深めていきたいと思っています。本当にありがとうございました。</p>			